

各学部教育

学部教育目標（教育目標系統表）

	就学前	小学部の教育目標	中学部の教育目標	高等部の教育目標	卒業後
前文		小学部は、人やものとの関わりを通して、自我を形成していく時期である。 この時期に、基本的生活習慣の定着をめざすとともに、他者との信頼関係を築きながら、楽しく主体的に学校生活を送る力をつける。	中学部は、思春期を迎え、バランスの良い健康な心と体をつくることが大切な時期である。 この時期に、自分と向き合い、自己理解を進め、仲間との関わりを大切にしながら、進んで社会参加に向かおうとする力を育む。	高等部は、健康な心と体を育て、自己理解を深め、将来について考えていく時期である。 この時期に、これまで獲得してきた力を高め、多様な人々との関わりを通して個々に応じた自立と社会参加をめざし、人生をよりよくしていく態度を育む。	
柱① 生活		・基本的生活習慣を身に付け、主体的に学校生活を送る力をつける。	・基本的生活習慣を確立し、主体的に学校生活を送り、社会参加に向かうための素地を育む。	・主体的に考え、行動し、自立して社会の中で生活する力をつける。	
柱② からだ： 心と体		・生理的基盤を整え、自らのからだを調整する力をつける。 ・体験を通して情感豊かな心を育む。	・運動機能を高め、体力をつけ、様々な生活場面に生かす。 ・思春期の心と体の変化を正しく理解し、バランスをとる力を育む。 ・様々な事象や体験を通して、情感豊かな心を育てる。	・思春期から青年期を迎える心と体の変化を受け止め、健康の保持・増進をめざす。 ・生命の尊さを知り、自分や相手を大切にする気持ちや態度を育む。 ・文化や多様な事象、体験を通して豊かな心や創造性を育む。	
柱③ 学力： 資質・能力		・基礎的な知識・技能を身に付ける。 ・興味関心を広げ、学びに向かう力を育む。	・基本的な知識・技能を身に付ける。 ・体験したことを活用し、自分で考え、行動できる力を培う。 ・学んだことを日常生活に生かそうとする態度を養う。	・自ら学び、自ら考える態度を養い、学んだ知識・技能を生活に活かす力をつける。	
柱④ 人との 関わり		・自分の思いを表現したり、相手の思いに気付いたりする力をつける。 ・教師や友だちとの関係を軸に、人やものに関わる力を広げる。	・自分の思いを伝えるとともに、相手の気持ちを尊重する力を育む。 ・集団生活をとおして、仲間と共に協力する力や主体的に活動する力をつける。	・自分の気持ちを伝える力や、仲間や本人をとりまく人々と共に活動に取り組む中で豊かな人間関係を築く力をつける。 ・自分の個性や多様性を認め合い、共に活動する力を育む。	
	生涯学習・進路 将来について考え、社会の中で自分の生き方を見いだす。 生涯をとおして学んでいこうとする意欲				